



新しく入った本 おとな



『月下のサクラ』（柚月 裕子／徳間書店）

事件現場で収集した情報を解析・プロファイリングする機動分析係に配属された森口泉は、早速当て逃げ事件の捜査を開始。そんな折、会計課の金庫から約1億円が盗まれていることが発覚し…。

『カード師』（中村 文則／朝日新聞出版）

『隈研吾建築図鑑』（宮沢 洋／日経BP）

『おとな世代の暮らし替え』（岸本 葉子／海竜社）

『70・80・90歳の“若返り”筋トレ』（久野 譜也／NHK出版）



新しく入った本 こども

じんるいめつぼう
『人類滅亡フラグがたちました!』（令丈 ヒロ子／P H P 研究所）

ひかりかがや せいめいたい
光 輝 <生命体、カンノンによって密室に集められた13歳の男女7人。
カンノンにどんな世界がこの星の人類にとって理想なのかを問われ、「永遠
にラブラブの世界」「平等な階級制の世界」などと答えていくが…。

めいたんてい
『あいがあれば名探偵』（杉山 亮／偕成社）

ちようじゅうぎ
『これが鳥獣戯画でござる』（結城 昌子／小学館）

『トレトレイレ』（うえだ しげこ／大日本図書）

『へんてこたいそう』（新井 洋行／小峰書店）



新しく入った本 ティーンズ



『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

（井上 祐紀／KADOKAWA）

なぜかいつもイライラする、学校に行く意味がわからない、コロナで目標がなくなった…。精神科医が、様々な悩みに答え、問題解決の手段としての休み方を提案する。実践ワークや見守る大人たちへのアドバイスも掲載。

『「ハーフ」ってなんだろう?』（下地ローレンス 吉孝／平凡社）

「ハーフ」などの言葉は浸透しているが、現実にはそれぞれの人がさまざまな経験をしている。社会構造やイメージを問い直し、一人ひとりの声を聞き、人権やメンタルヘルスについて考える。中学生の質問箱シリーズ。

他にも、新刊が入っています。図書室の新刊コーナーへ



先日、図書室に2人の男の子が

「サンショウウオの本どこにありますか？」

とやってきました。お友だちからもらったサンショウウオのエサや育て方を調べるためでした。2人が見せてくれたサンショウウオに愛着がわいた私たち。元気に育ってるかなあ(*´ω`*)

“どうする?”と思った時に図書室を利用してくれたことも、うれしかったです。

“?”の探し物には、ぜひ図書室をご利用下さい。

諫早市内の図書館にあるサンショウウオの育て方の本

- ・有尾類の教科書 西沢雅／著 笠倉出版社(2020.10)
- ・ウーパールーパー・イモリ・サンショウウオ 佐々木浩之／著 誠文堂新光(2018.5)
- ・両生類・爬虫類 [ポプラディア大図鑑 WONDA] (11) ポプラ社(2014.3)

